

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果								
事業所名		一般社団法人ハンズハンズ 未来育ディ						
		公表日 R8年 1月 27日						
		利用児童数 20 回収数 15						
チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	2			活動する場所と遊ぶ場所で分けられており良いと思う。	環境設定を適宜見直し、活動や遊びに十分取り組めるよう考えています。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	11	1		3		人員配置の指定基準（利用者10名に対して指導員2名）を上回る配置で支援をしています。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	6		1		バリアフリー化などハード面の設備の修繕はなかなか難しいですが、こどもにわかりやすい空間づくりを心がけ、日々検討しています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12	2		1		活動に合わせて机の配置を変えたり、こどもたちの興味にあわせて教材や視覚支援ポスターを用意したりしています。	
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15				細かいことまで把握して、丁寧で適切な支援をしていたいおり、とても信頼している。ドライバーさんによって強い口調や理解不足を感じることがあるので指導が必要であると思う。	特性や発達段階に応じて適切な支援ができるよう、日々模索しています。全職員が特性や支援について理解を深められるよう、研修内容を検討していきます。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	1				ホームページにて支援プログラムを公表しています。適宜内容を見直していきます。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15						
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13	1		1		個別支援計画に、3つの支援と、5領域との関連について記載し、一人ひとりに応じた具体的な支援内容を設定することができるよう心がけています。	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15						
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15				活動は多種であり、子どもたちが興味を持ちそうなものである。いつも感心させられる。	こどもの今の興味関心にあわせて、意欲的に活動に参加することができるよう考えています。	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。		5	2	8	機会を設けていただくのもなかなか難しいと思う。現状のままでよいと思う。	地域の施設や公園等に出かけた際には、同じ空間で地域の子の姿を見ることがあります、それ以外の場で機会を設けることが現状難しいと感じています。	
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15						
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14			1		モニタリングの際に、新しい計画案や課題、目標の提案をさせていただいたり、送迎時顔を合わせた際に説明をしたりしています。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13			2	定期的に参観日が予定されており、手厚い。	月1回（行事月以外）面談・参観の週を設けています。年1,2回の保護者会では特性や支援方法について学ぶ機会を提供しています。	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	14	1				日々の活動記録、送迎時、LINEやメール、電話等でお子さんの様子を伝え、共通理解を図っています。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15						
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13	2			保護者と子どもの状況や感情を理解し、寄り添いながら支援していただいている。	安心してお子様を預けたり、気軽に相談したりしていただけるよう、肯定的・共感的な支援を基本としています。	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	3				長期休暇におたのしみ会と保護者会を開催しています。おたのしみ会に、ぎょうだいにも参加していただきことで、交流する機会としています。	
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	1				相談や申し入れ内容に応じて、支援方法を検討しなおしたり、該当のサービスや場を提供したりすることができます。	

	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いませんか。	15					
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	15			ユーチューブで子どもの様子を見ることができ、安心している。	記録の文章だけでは伝わりづらいお子様の様子を、毎月の通信や、Youtubeで見ていたけるよう発信しています。お知らせすべき事項については、LINE公式アカウントや通信にて情報提供しています。	
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15				Youtubeに公開されている動画や写真は、全世界で見られるものなので特に留意し、毎年、個人情報の取り扱いについての同意書にて、承諾の有無を確認しています。	
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14		1		各マニュアルについて、年に2回程度保護者に通知し、いつでも見ていたけるよう整備しています。年2回の全体職員会議の中で、職員研修や訓練を行い、有事に備えています。	
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15				月1回、防災の日を設け、訓練や防災学習を行っています。	
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15				安全計画を策定し、適宜点検をしています。行事やおでかけの際は、指導案を作成し、留意点や環境構成等について職員間で共通理解をしたうえで支援にあたっています。	
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13		2		怪我や事故があった場合、そのときの状況に応じて緊急を要する場合はすぐに電話連絡をしたり、LINE等で連絡を入れたりし、状況説明を行っています。	
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	15			事業所へ向かうとき、事業所から帰宅するときに穏やかな表情をしている。安心感があると思う。	信頼感、安心感をもって利用していただけるよう、適宜環境構成や支援の仕方を見直し、居心地の良い空間づくりを大切にしています。	
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	15			「〇〇の活動は〇月△日にある」と言ったり、未来育の先生方や友達の話をよくしたりしており、楽しみにしていることが伝わってくる。朝準備をしていると、放ディのファイルを入れて「行きたい」とアピールしている。	将来の生活に必要なさまざまな力を、楽しく意欲的に身につけることができるよう、こどもたちの今の興味関心にあわせて活動や支援を模索しています。	
	29 事業所の支援に満足していますか。	14	1		信頼のおける先生方に、温かく充実した支援をしていただき大変感謝している。 一人一人に合った活動をしてもらえるので満足している。	ありがとうございます。常に変化していくこどもたちの様子を正しく捉え、それそれにあわせた活動や支援をすることができるよう、今後もチーム一丸となって検討していきます。	